



創造・感謝・勤労

飛 幡 中

2018年度

北九州市立飛幡中学校 学校通信

平成31年1月21日 No. 22

発行責任者 校長 池 浩幸

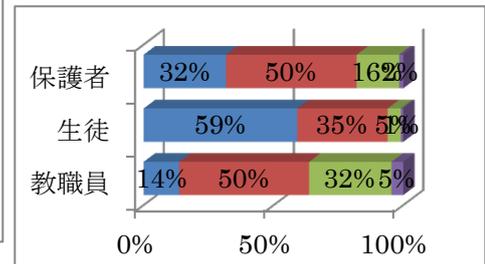
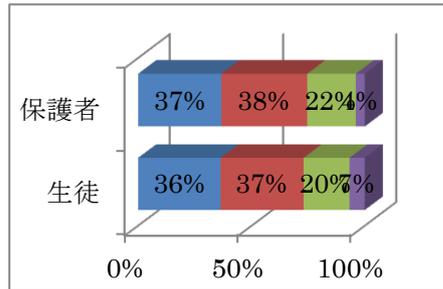
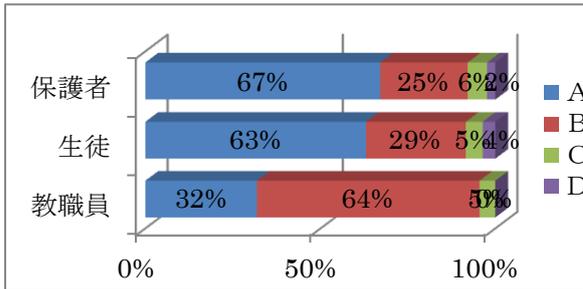
学校所在地 戸畑区小芝一丁目8番20号

TEL093-882-3652 FAX 882-3618

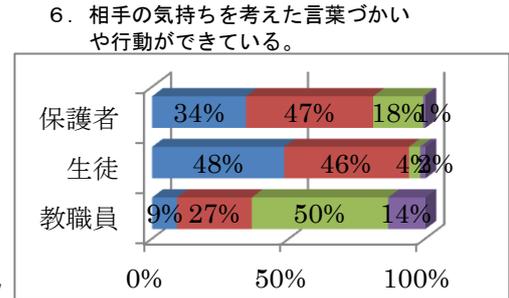
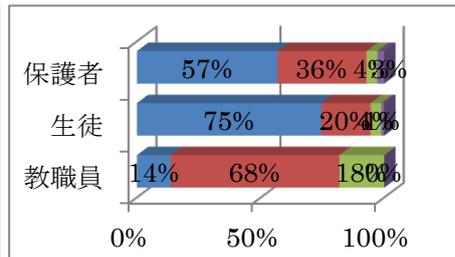
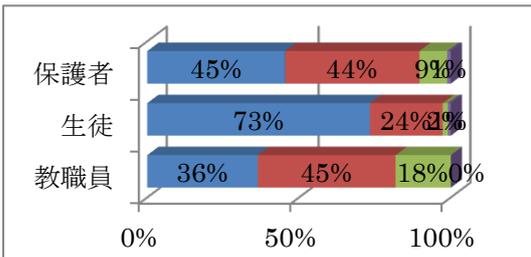
【今年度も意識調査(生徒・保護者・職員 アンケート)の結果がまとまりました。ご協力ありがとうございました。】

今年度も2学期末に、学校アンケートを行いました。保護者の皆様にも、保護者会にてたくさんの方々にご協力していただきました。校舎内も落ち着いた環境が整い、穏やかな雰囲気になってきた飛幡中にも、まだまだ様々な課題があります。すぐに解決できないものもありますが、少しでも前向きになるよう、取組みを続けています。また時折、地域や保護者の方々のおたたかいお言葉がとても励みになっています。職員一同感謝しております。今後とも、本校教育活動にご理解とご支援を宜しく
※ A→そう思う B→大体そう思う C→あまり思わない D→全く思わない

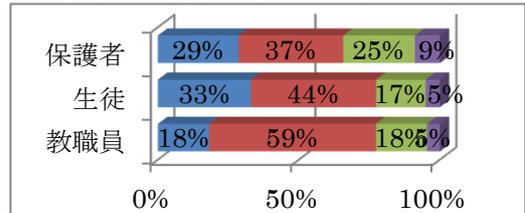
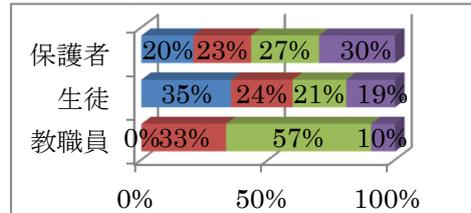
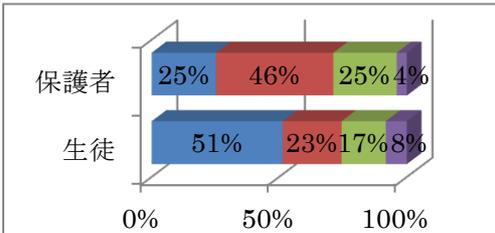
- 1. 毎日楽しく安心して学校に通っている。
- 2. 学校のことを保護者とよく話している。
- 3. 礼儀正しいあいさつや身だしなみなど基本的な生活習慣が身についている。



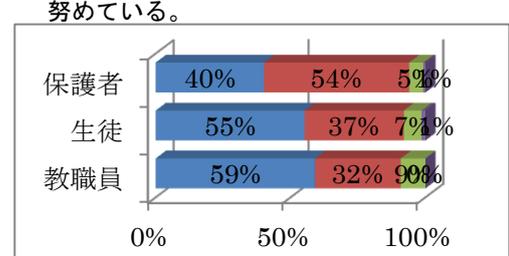
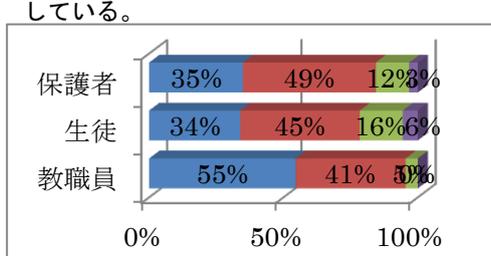
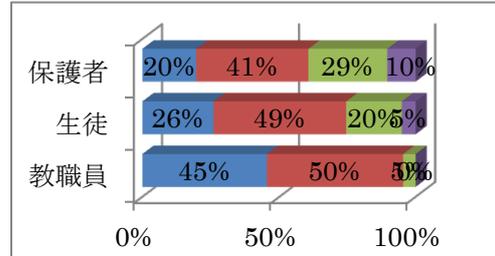
- 4. 学校生活のきまりをよく守っている。
- 5. 好ましい友人関係を築いている。



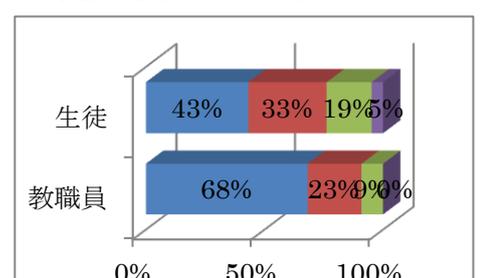
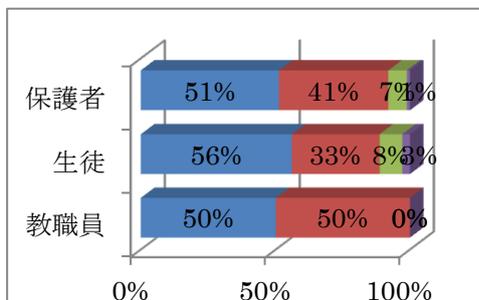
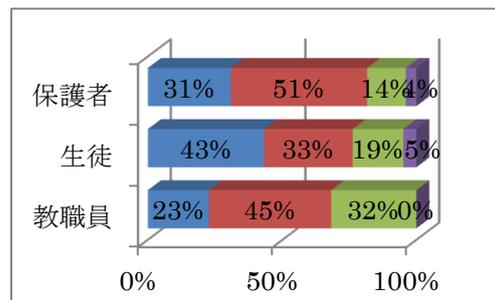
- 7. 将来の夢や目標について家庭で話をする。
- 8. 1日1時間以上の家庭学習に取り組んでいる。
- 9. 落ち着いた雰囲気授業ができています。



- 10. 学校での授業はわかりやすい。
- 11. 学習状況等の評価について、適正に評価している。



- 13. プリントや通信などから学校の様子が分かる。
- 14. 学校行事は充実している。
- 16. 授業では、学級の友達との間で話し合う活動ができる。



【3年生、進路に向かう！】

さあ、いよいよ3年生は受験が始まります。

始業式等で話したように、進路に向かうことは、自分自身を真正面から正直に見つめることです。今までの自分はどうだったのか、今の自分はどうか、そしてこれからの自分はどうかあるべきか。ごまかしはききません。頑張ったら頑張った分だけ、力を抜けばそれなりに、その答えは自分自身に必ず返ってきます。慌てず、焦らず、基本的なことを一つ一つ確実にやり遂げていくこと。

3年生だからこそ学習面だけではなく、生活そのものの見直しから大切になります。

合格へのポイントは、まずそこからです。頑張れ、3年生一！

時を待つ心

何ごとをなすにも時というものがある。時―それは人間の力を超えた、目に見えない大自然の力である。いかに望もうとも、春が来なければ桜は咲かぬ。いかにあせろうと、時期が来なければ事は成就せぬ。冬が来れば春は間近い。桜は静かにその春を待つ。それはまさに大自然の恵みを心から信じきった姿といえよう。わるい時がすぎれば、よい時は必ず来る。おしなべて、事を成す人は必ず時の来るのを待つ。あせらず、あわてず、静かに時の来るのを待つ。時を待つ心は、春を待つ桜の姿といえよう。だが何もせず待つことは僥倖[※]を待つに等しい。静かに春を待つ桜は、一瞬の休みもなく力をたくわえている。たくわえられた力がなければ、時が来ても事は成就しないであろう。

時を得ぬ人は静かに待つがよい。大自然の恵みを心から信じ、時の来るのを信じて、着々と力がたくわえるがよい。着々と力がたくわえる人には、時は必ず来る。時期は必ず来る。

待てといわれればなおあせるのが人情である。だが、自然の理はわがままな人情には流されない。冷たいのではない。静かに時を待つ人には、あたたかい光を注ぐのである。お互いに時を待つ心を養いたい。

(PHPより)

※ 成就（じょうじゆ）・・・物事を成し遂げること。また、願いなどがかなうこと。

※ 僥倖（ぎょうこう）・・・思いがけない幸い。偶然に得る幸運。